

穏いのパークの魅力

～春よこい♪～



◀ 八重桜のトンネル

春浅く、吐く息も白いこの時期ですが、日差しの明るさに少しずつ春の気配を感じるようになってきました。園内では、ロウバイからウメの花が咲く季節へと移り変わり、ツバキの蕾も次第に膨らんでいます。

自然豊かなネーブルパークには30種類以上の樹木がありますが、その半数は花を鑑賞できる花木です。その花木が公園をもっとも華やかにする季節が、すぐそこまで来ています。

3月に入ると咲き出すのがツバキやハクモクレンの花。そして待ちに待った「サクラ」の季節。3月下旬には園内のソメイヨシノが一斉に咲き出し、4月初旬まで咲き誇ります。その後は花期の長い八重桜が4月下旬まで園内の隅々を華やかに彩ります。

3月26日～4月3日(予定)には第3回を迎える『さくらまつり』が開催され、盛期のに

ぎやかさを徐々に取り戻していきます。

また市内では、合併10周年を記念して「古河公方公園」と愛称が付けられた古河総合公園でも、『第40回古河桃まつり』(3月20日～4月5日)が開催されます。

古河公方公園の有名なハナモモに負けないように、ネーブルパークでも「サクラが楽しめる公園」を目指して、現在、サクラの植樹に取り組んでいます。特に八重桜はここ数年、毎年50本以上を植えており、約500本だった公園のサクラは徐々に数を増やし続けています。

立春を迎え花の蕾もほころぶこの季節、冷たい空気を頬に感じながら、かすかに交じる春の気配を探しに、ネーブルパークへ出掛けてみませんか。

【問】ネーブルパーク管理事務所 ☎92-7300

表紙写真



1月10日、古河はなもも体育館で開催された「成人式典」。華やかな振り袖や背広に身を包んだ新成人が、晴れやかな表情で大人への一步を踏み出しました。

新成人の未来を祝福するかのよう澄み切った青空が広がり、絶好の撮影日和。緊張しながらも、さわやかな笑顔をカメラに向けてくれました。

東日本大震災から間もなく5年。中学校卒業と震災の記憶が重なる新成人からは「仲間との絆を大切にしたい」「常に感謝の気持ちを忘れずにいたい」などの声を聞くことができました。今しなければならぬこと、今しかできないこと、「今」を無駄にせず未来に向かって歩んでください。

撮影に協力してくれた新成人の皆さん。ありがとうございました。

古河市データ

人口



(1月1日現在) 住民基本台帳から
 総人口… 144,715人 (-61)
 男……………72,811人 (-24)
 女……………71,904人 (-37)
 世帯数…58,897世帯 (-19)
 () 内は前月比

※18ページ「脳トレに挑戦!」の答え 【問1】はくさい、ほうれんそう、ねぎ、れたす、とまと
 【問2】あか、あお、くろ、みどり、むらさき